

第4章 計画の構成と推進体制及び進行管理

第4期泉区地域福祉保健計画の推進にあたっては、その推進体制を整えるとともに、進行を管理することで、基本理念の実現を目指します。

1 計画の構成

(1) 地区別計画

地区別計画は、第1期～第3期計画と同様、地域が主体的に策定し、地区ごとの課題解決に向けて地域主体の取組を進めます。

各地区では、地区別計画を推進する組織（推進委員会、地区社会福祉協議会など）が形成されています。この推進組織を中心として、地区での活動を展開しています。

活動を進めていくのは、地区によって違いはありますが、連合自治会・町内会、地区社会福祉協議会、地区経営委員会、民生委員児童委員協議会等の地域組織や、個人、活動団体、関係機関などです。幅広く連携して、よりよい地域づくりを行うための取組を進めます。

また、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザで構成する地域支援チームが、地区の活動を支援します。

(2) 区計画

区計画は、地区別計画を支えるために、区域に共通する課題解決に向けて、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが中心となり、区民や関係機関と協働した取組を進めます。

2 計画の推進体制及び進行管理・評価について

(1) 泉区地域福祉保健推進協議会

（分科会：泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会）

泉区地域福祉保健計画は、地区別計画推進組織、活動団体、関係機関等で構成される「泉区地域福祉保健推進協議会」において、計画全体の推進及び進行管理（振り返り）、活動情報の共有、計画推進における課題やその対応策の検討及び新たな提案等を行い、区計画や地区別計画の推進に生かします。

この計画を推進するために、第2期計画時から泉区地域福祉保健推進協議会を設置しています。4期計画策定に向けては、推進協議会の位置づけを見直し、協議会委員より策定・推進検討会を組織し、分科会として計画推進の課題やその対応策の検討、新たな提案等を行い、協議を進めてきました。

なお、泉区地域福祉保健推進協議会は、12地区の代表と27の関係機関の委員で構成されており、区計画の進行状況の報告、地区別計画の進捗状況の共有、区計画や地区別計画の活動の推進に生かしてきました。

(2) 地区別計画

地区別計画は、各地区の地区別計画推進組織が中心となって年度ごとに振り返り、次年度の行動計画に生かします。地区により異なりますが、一例としては、単年度の行動計画（アクションプラン）を作成し、各戸配付などの方法で周知しながら取組を進めています。

また、多くの人に地域福祉保健計画とその取組内容を知ってもらおうきっかけとして、広報よこはま泉区版の紙面を活用した地区別計画の取組紹介や、毎年「地域福祉保健計画推進イベント」や「活動発表会」の場で、地域の活動団体の紹介や12地区の1年間の取組を発表しています。

(3) 区計画

区計画は、年度ごとに具体的な事業計画を作成し、実行します。その結果を点検し、次年度の事業計画へ反映させるというPDCAサイクルの視点を持って取り組みます。さらに、地域福祉保健推進協議会などで共有することで、進行管理を行います。

また、第4期計画の3年目にあたる令和5年度に、これまでの取組状況と残りの2年間を見据えた中間振り返りを行い、より効果的な計画の推進を目指します。

そして、計画の最終年度である令和7年度には、計画の総合評価を行い、次期計画の策定に活かします。

最終振り返りにあたっては、第4期計画の推進によってどのような変化が生じたかを測り、行動計画に基づく取組結果とあわせて、計画全体の取組状況を確認していきます。

さらに、第4期計画からは、「評価の指標」となる活動指標を定め、「目指すまちの姿」にどれだけ近づいたかという視点で、定量（量）及び定性（質）の両面から総合的に判断し、評価を行います。

評価方法

- ①活動指標の経年変化や取組状況を確認し、定量・定性評価を行います。
- ②目指すまちの姿にどれだけ近づいたか①及びその経過、課題について考察し、総合的な評価を行います。

第4期 泉区地域福祉保健計画 評価指標

【目指す方向性の凡例】
 「増加」… 人数や件数など数量の増加
 「上昇」… 割合の上昇（＜ ＞は市平均の値）
 「－」… 数の増減では測れないが経年変化を
 観測し、継続していく取組

推進の柱1 《 健やかに過ごせるまち 》

重点項目1 自分らしく生きるための支援を進める

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	認知症サポーター養成数	15,213人	増 加	高齢・障害支援課
①	認知症SOSネットワーク登録者数	148人	－	高齢・障害支援課
①	認知症カフェ数	6か所	－	高齢・障害支援課
①	認知症初期集中支援チームの支援件数	48件	増 加	高齢・障害支援課
①	SOS発見協力機関	39機関	増 加	高齢・障害支援課
①	高齢者虐待対応件数	22件	－	高齢・障害支援課
①	エンディングノート配布数	900冊	増 加	高齢・障害支援課
①	権利擁護事業の新規契約件数	11件	増 加	区社会福祉協議会
①	権利擁護事業から成年後見への移行件数	1件	増 加	区社会福祉協議会
①	成年後見に関する相談件数	7件 (区社協における相談のみ)	－	区社会福祉協議会
②	「在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修」の受講者数・受講職種数	80人・11職種	増 加	高齢・障害支援課
②	医療介護の連携がとれていると感じる人の割合（アンケート）	－（新規）	上 昇	高齢・障害支援課
②	在宅医療連携拠点相談件数	250件（継続5件）	増 加	高齢・障害支援課
②	在宅看取り率※ ¹	20.7%＜23.9%＞ (平成30年度)	上 昇	高齢・障害支援課
③	ガイドボランティア登録者数	30人	増 加	区社会福祉協議会
③	障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座実施回数・参加者数（出前講座含む）	5回・355人	増 加	区社会福祉協議会

※1 自宅看取りと、病院・診療所を除いた各施設での看取りを合算して算出。

重点項目2 元気でいるための支援を充実させる

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	健康づくり講座の参加者数	449人	増 加	福祉保健課
①	食生活相談の参加者数	236人	増 加	福祉保健課
①	がん検診の受診率※ ¹	胃 4.5%＜5.1%＞ 子宮 19.9%＜25.6%＞ 乳 16.8%＜17.9%＞ 大腸 17.3%＜4.6%＞ 肺 15.9%＜10.9%＞	上 昇	福祉保健課
①	特定健診の受診率	27.0%＜25.4%＞ (令和元年9月24日現在)	上 昇	保険年金課
①	ふれあい助成金（健康増進区分）による活動団体数	16団体	増 加	区社会福祉協議会
①	公園等への健康遊具の設置か所数	19公園（44基設置）	増 加	土木事務所
①	介護予防の普及啓発（回数・人数）	45回・1,806人	増 加	高齢・障害支援課
①	自主活動グループ等への健康づくりと介護予防活動への支援	18回・152人	増 加	高齢・障害支援課
①	元気づくりステーショングループ数・参加者数	12グループ・5,710人	増 加	高齢・障害支援課

①	介護予防活動グループ数	156グループ	増 加	高齢・障害支援課
①	地域リハビリテーション活動支援事業の専門職の派遣回数・参加者数	11回・229人	増 加	高齢・障害支援課
①	健康づくりと介護予防が連携した取組の実施回数	1回	増 加	福祉保健課 高齢・障害支援課

※1 横浜市がん検診の受診率のみ

重点項目3 地域の安全をみんなで考える

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	子育てサポートシステムの延べ利用者数	1,346人	増 加	地域子育て支援拠点
①	防犯講習会の実施回数・参加者数	13回・627人	—	地域振興課
①	まちの防災組織研修参加団体数	32団体（全155団体）	新規参加団体の増加	総務課
①	災害時要援護者支援事業実施地区数の割合	84.3%＜91.0%＞	上 昇	総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課
①	通学路安全対策を取っている小学校数	18小学校	—	土木事務所

推進の柱2 《 必要な支援が届くまち 》

重点項目1 相談しやすい仕組みを整える

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	「ひきこもり等の困難を抱える若者の自立支援に向けた専門相談窓口」相談件数	22件	—	こども家庭支援課
②	こんにちは赤ちゃん訪問の訪問率※1	87.5%＜86.0%＞	—	こども家庭支援課
②	赤ちゃん教室への参加者数	2,333人	—	こども家庭支援課
②	母子保健コーディネーターによる母子健康手帳交付時の面接割合（母子保健コーディネーターを含めた、医療職による母子健康手帳交付時の面接割合）	33.3%＜48.1%＞ (98.4%＜95.1%＞)	—	こども家庭支援課
②	地域子育て支援拠点における横浜子育てパートナーへの相談件数	230件	—	地域子育て支援拠点
②	精神障害者生活支援センターへの相談件数	6,111件	—	精神障害者生活支援センター
②	基幹相談支援センターへの相談件数	1,996件	—	基幹相談支援センター
②	地域ケアプラザへの相談件数	子ども・障害：214件 高齢：9,672件	—	地域ケアプラザ

※1 令和元年度は新型コロナの影響もあり訪問率が87.5%となっているが、H30年度の訪問率は98.4%であるため、目指す方向性は継続（—）とする。

重点項目2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	生活困窮者支援における新規相談者数・自立による支援終了者数	新規相談：471人 支援終了：71人	—（新規） 増加（自立）	生活支援課
①	引きこもり等若者支援セミナー・相談会の開催回数	6回	—	こども家庭支援課

重点項目3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	住民主体の地域の活動把握数（うち、生活支援の数）	19件	増加	高齢・障害支援課
①	泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数	22件	増加	高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
①	地域支援チーム打合せ回数 地区別の地福計画推進のための会議への出席回数	打合せ回数：140回 会議回数：114回	—	福祉保健課

推進の柱3 《 人と人、活動と活動がつながるまち 》

重点項目1 参加する人を増やす

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	地域福祉保健計画推進イベントの参加者数、「地域福祉保健計画」に関心を持った人数	参加者数：110人 関心を持った人数：106人	増加	福祉保健課
①	ふれあい助成金交付事業の参加者数	67,987人	増加	区社会福祉協議会
③	公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーターの団体数	公園愛護会：92 水辺愛護会：16 ハマロードサポーター：25	増加	土木事務所

重点項目2 担い手を増やす

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	民生委員児童委員・主任児童委員充足率	90.1% < 92.0% > (令和2年4月1日現在)	上昇	福祉保健課
①	「泉区人財バンク」の紹介件数	235件	—	地域振興課
①	自治会・町内会加入率	76.5% < 72.4% > (平成31年4月1日現在)	—	地域振興課
①	ふれあい助成金の交付団体数・担い手数	108団体・1,410人	—	区社会福祉協議会
①	各種ボランティア講座の実施回数・参加者数	5回・126人	増加	区社会福祉協議会
①	愛護会・ハマサポ交流会の参加者数	視察会（10月：92人） つどい（12月：62人）	—	土木事務所
②	新たな担い手を発掘・育成するための講座参加者数	参加者数：114人	増加	福祉保健課

重点項目3 つながる機会を作る

行動計画	活動指標	現状値（令和元年度末）	目指す方向性	実施主体
①	住民主体の地域の活動把握数（うち、交流・居場所の数）	623件	増加	高齢・障害支援課
①	要支援者等にも配慮した住民主体の支え合い活動の数（サービスB等）	3団体	—	高齢・障害支援課
①	福祉教育の実施件数・参加者数	10件・1,244人	増加	区社会福祉協議会
①	サマースクール実施件数・参加者数	30コマ・93人	増加	区社会福祉協議会

第4期泉区地域福祉保健計画

【計画構成】（計画期間：令和3年度～令和7年度）

